

動脈硬化の指標 AVI、API の分布からみた循環器疾患リスク

秋元崇史、鵜殿美根子、田中稔保、磯野美幸、中城千緩、鈴木則子、鈴木和郎

健康館鈴木クリニック検査課

【目的】当院健診受診者を対象に医用電子血圧計 AVE-1500 (志成データム社製) を用いて、上腕カフにより得られる血管指標 AVI、API を測定し、両指標の年齢別分布傾向ならびに平均的分布範囲から乖離した受診者の特徴を検討した。

【対象】健診受診者 (2012 年 10 月 1 日～2015 年 8 月 31 日) において判定可能なデータの得られた年齢 18～82 歳までの 1,973 名 (男性:1,401 名、女性:572 名平均年齢 45.4 歳)。

【方法】対象者の中で血圧、血糖値、コレステロール等の指標が基準値内かつ喫煙、服薬、既往歴のない健常者 (男性:300 名、女性:126 名) より得られた血管指標 AVI、API から年齢ノモグラムを作成し、両指標の循環器疾患リスク判定に関する有用性を検討した。

【結果】

1. 健常者年齢ノモグラム AVI は男性、女性いずれも有意な年齢相関があった。
2. 健常者年齢ノモグラム API は女性の場合は有意な年齢相関が認められず、男性では有意な負の年齢相関が認められた。
3. 今回作成した年齢ノモグラムの平均的分布範囲を外れた受診者では、心血管リスクマーカーが有意に高かった。

【考察】循環器疾患リスクの判定に AVI、API の利用が有効であると思われた。

